

◆ 平成 25 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）報告一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 国際文化学科	学科長 高等教育推進部 門学科委員 学科教務委員	①毎月の定例学科会議およびそのための資料作成・検討の学科教務委員会 ②カリキュラムマップ（履修モデル・教育プログラム）を題材としたファシリテーション研修の準備	①会議室および演習室等 ②演習室およびラーニングコモンズ	テーマ：カリキュラム見直しに係るアンケート準備とファシリテーション研修 参加者数：①学科構成員および学科教務委員 ②学科長および高等教育推進部門学科委員 簡単な状況報告：①カリキュラム見直しに係るアンケートについては、学科の専門科目や大学生生活全般を内容として3,4年生向けに準備した。また、時間割作成上の問題を確認する意味で最も配当科目が多い2年生向けに時間割アンケートを用意した。②カリキュラムマップの考え方や他大学の実施状況を調査した。
保健福祉学部 看護学科	山中 道代	8月26日（月） 13:15～16:15	保健福祉学部 3号館3階 3307実習室	テーマ：ファシリテーターの役割を体験から学ぶ 参加者数：16名 簡単な状況報告： 講師：九州大学大学院総合新領域学府客員准教授 加留部貴行先生 講義テーマ：「ケースカンファレンスを活性化するために」 ファシリテーションについて簡単な講義の後、「会議観察」により会議の進行を体験的に学ぶとともに振り返りにより深めた。観察は、主に「どのように話しているのか」に注目した。例えば、参加者からの質問や投げかけ、要約のタイミング、周囲に対する配慮などである。それによって、話し合いをどのように進めればよいのか考える機会となった。また、自分たちの良い点や改善すべき点も見えてきた。
保健福祉学部 理学療法学科	田中 聡学科長	①6月26日（水） 14時40～15時10分 ②7月24日（水） 14時40～15時10分 ③8月19日（月） 16時00～17時00分 ④9月24日（水） 14時40～15時10分 ⑤10月23日（水） 9時00分～9時30分	①②④⑤ 2409会議室 ③ 2313会議室	テーマ：理学療法学科における学内および臨床教育の改善 参加者数：①16名、②14名、③22名（教員10名、実習指導者12名）、④15名、⑤15名 簡単な状況報告： ①「日本とイタリアの理学療法教育の比較」（島谷康司） イタリア・ジェノバ大学理学療法学科のカリキュラム、授業、臨床実習、試験などの実態が、日本のそれと比較しながら報告された。 ②「単位あれこれ」（滝川 厚） 数値単位の種類・表記方法についての最近の動向が解説され、「卒業研究」での指導に生かすことが勧められた。 ③「基礎臨床実習Ⅰ実習指導者会議におけるワークショップー基礎臨床実習Ⅰの体験のあり方ー」（沖田 一彦、他） 「基礎臨床実習Ⅰ」での医療コミュニケーションの学内・臨床教育のあり方について、臨床実習指導者会議に参加した教員と実習指導者とで討議した。 ④「カリキュラム検討会（後期）前期成績不良者の指導について」（学科教員全員） 本年度後期の新カリキュラムの編成と内容を確認したのち、特に必修科目に関する前期成績不良者に関する学科教員からの情報提供と指導のあり方を討議した。 ⑤「健康と病の語りデータベースの教育的活用ー「患者の病の語り」を講義に取り入れてー」（田中 聡） 患者の“語り（ナラティブ）”を理解するための教育方法として、「老人・生活系理学療法学」における動画データベースを用いた授業内容が紹介された。

<p>保健福祉学部 コミュニケーション障害 学科</p>	<p>渡辺 眞澄 津田 哲也</p>	<p>①5月13日 13:00～17:00 ②5月30日 12:10～13:00 ③7月22日 13:00～17:00 ④7月23日 12:10～13:00 ⑤9月25日 12:10～13:00</p>	<p>1309 演習室, その他</p>	<p>テーマ: 教員および実習指導者の研究・教育方法の共有と向上 参加者数: 概ね 15～30 名であった。 簡単な状況報告: 5月30日, 7月23日, 9月25日の会は, 教員が行っている研究の紹介と教員同士の意見交換が行われた。5月13日, 7月22日の会では, 学外実習施設の言語聴覚士を交えて, 実習指導における問題点, 指導上の工夫点等について情報を共有し, 意見を交換しあった。 ① 学外実習施設の言語聴覚士との意見交換会 ② 教科書に載らない調音の実態 (担当 吐師 道子 先生) ③ 学外実習施設の言語聴覚士との意見交換会 ④ コミュニケーションと経口摂取ができなくなった時の希望～人工的水分・栄養補給法を想定する対象による違い～ (担当: 中村 文 先生) ⑤ 文の発話プロセスから見た, 新造語発話と助詞の誤用 (担当: 渡辺 眞澄 先生)</p>
<p>保健福祉学部 人間福祉学科</p>	<p>江本 純子</p>	<p>①4月3日ほか 4月は月1回, 5～8月は月2回 ②4月3日ほか 月1回 ③4月3日ほか 4～8月隔月 ④4月3日ほか 月1回 ⑤4月3日ほか 月1回</p>	<p>三原キャンパス 内会議室 (4102 会議室ほか)</p>	<p>テーマ: 福祉を学ぶ学生の入学前から卒業に至るまでの包括的支援 参加者数: ①7名, ②8名, ③7名, ④社会福祉等実習会議 12名, 精神保健福祉等実習会議 8名, ⑤20名 簡単な状況報告: 人間福祉学科では, 学生の入学前から卒業後に至るまで一貫した支援を実施すべく, 平成25年度から6つのチームを組み, 会議を開催している。今年度前期のFD活動は, このうち, 入試対策等会議, チューター学生相談等会議, 就職活動国家試験対策等会議, 社会福祉等実習会議, 精神保健福祉等実習会議が中心になって行う詳細な検討を主軸にして展開した。方法としては, 各会議がそれぞれの目的に従った活動の提案をし, 詳細について, 必要があればさらに小グループを形成して検討し, その内容を各会議で協議し, 学科会議内で報告したり, 必要があれば最終協議の上決定した。具体的には, 入試対策等会議が本年度から学科独自の入試対策ならびにパンフレットの作成とオープンキャンパスを実施した。またさらに学科内に人間福祉後援等会議を編成し, FD 事業・倫理利益相反・教育地域福祉・教学・広報・CMS 担当の事業を実施している。 ① 入試対策会議 ② チューター学生相談等会議 ③ 就職活動国家試験対策等会議 ④ 社会福祉等実習会議・精神保健福祉実習会議 ⑤ 効果的な授業のあり方と評価等に関する検討 (ピアレビューを含む)</p>
<p>保健福祉学部附 属診療センター</p>	<p>林 優子</p>	<p>7月31日(水) 16:30～17:30</p>	<p>三原キャンパス 4号館1階 4101 講義室</p>	<p>テーマ: みんなで考える医療のリスクマネジメント—訴訟事例を題材に— 広島大学保健管理センター 日山 亨先生 参加者数: 55名 簡単な状況報告: 県立広島大学保健福祉学部および附属診療センターの教職員が最新の医療安全の知識を学ぶことにより学生教育や自身の医療の安全確保の向上を図ることを目的に, 最近の医療現場でのリスクマネジメントについて具体的な事例をとおして検討した。事後アンケートでは, 医療安全について再確認できたとしてすべて非常に好評な意見であった。</p>